

# そうべつ議会だより



壮瞥小学校 入学式

■ 第1回定例会のあらまし .....	2
■ 予算審査特別委員会 .....	4
■ 一般質問 .....	18
■ 薫風 .....	20

# No. 85

□ 2022年5月 □



壮瞥町議会  
ホームページ



壮瞥町議会  
YouTube



壮瞥町議会  
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会  
(TEL 66-2121 · FAX 66-7001)

# 議案審議

## 定例会のあらまし

### 壮瞥中学校移転整備事業に本格的に取り組む!!

令和4年第1回定例会は、3月10日から18日までの9日間の会期で開催されました。2名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

令和4年度一般会計予算についてなど議案24件、意見案、決議案を審議し、それぞれ可決しました。

#### 第1回 臨時会

第1回臨時会は、2月8日に開催され、一般会計補正予算について審議し、可決されました。

令和3年度壮瞥町一般会計補正予算(第12号)について

9,432万3千円追加

#### 補正後の予算総額

41億4,266万7千円

商工業振興緊急対策事業補助金

2,835万円追加

#### 質疑

コロナ禍による本町商工業への影響の実態と、補助金の内容について。

#### 答弁

観光業については、昨年度の入込実績に比して5%程度の伸びしかなく、コロナ前に比較すると2割に満たない程度の入込客数のため、町内商工業者に甚大な影響を与えている。

#### 第1回 定例会

補助金は、商工会会員の事業継続と経営安定を図るため、商工会加入商工業者に一律5万円の定額補助と、令和3年3月から12月までのうち連続する3カ月間の売上が前年又は前々年同期比30%以上減少した町内の観光、飲食、宿泊等事業者に減少額の5%相当額(上限200万円)の補助を行うもの。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員として、郡 松太郎氏を引き続き任命することに同意しました。

壮瞥町企業版ふるさと納税基金条例の制定について

#### 質疑

企業版ふるさと納税寄附金の使途等について。

#### 答弁

企業版ふるさと納税寄附金は、壮瞥町まち・ひと・しごと創生推進計画に掲げた事業に充てるものであり、寄附金を有効活用するため、基金として積み立て、寄附受領年度以降の地方創生事業に計画的に当該基金を充てるのが可能となる。なお、当該寄附金は、一般財源に充当する財政調整基金へ積み立てることはできない。

壮瞥町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について

#### 質疑

条例制定の趣旨と、この条例に基づき設置される審議会の役割等について。

#### 答弁

本町の中小企業等の振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の発展及び町民生活の向上に寄与することを目的とするもので、審議会は、町長の諮問に応じ、中小企業等の振

興施策を調査審議し、意見を述べる等の附属機関として設置される。構成員は町1名、商工会2名、金融機関1名、そうべつ観光協会1名、胆振総合振興局1名の計6名を予定している。

壮瞥町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

#### 質疑

未就学児に係る国民健康保険税均等割の軽減措置の内容について。

#### 答弁

未就学児に係る被保険者均等割額を2分の1に軽減するもの。なお、2割、5割または7割軽減される場合にあっても、当該軽減された額に



第1回定例会の様子

# 令和4年 第1回

ついて、そのうち2分の1に軽減するものである。

令和3年度壮瞥町一般会計補正予算(第14号)について

1億8,776万6千円追加

補正後の予算総額

43億6,168万4千円

介護給付・訓練等給付費扶助費

1,300万円追加

質疑

障害者自立支援給付等事業の介護給付・訓練等給付費扶助費の内訳について。

答弁

令和3年度見込みで、施設入所支援2,580万円、生活介護4,675万円、居宅介護320万円、グループホーム3,250万円、就労継続支援A型3,243万円、就労継続支援B型1,880万円、計画相談支援380万円となっている。

外国語教育推進事業

382万6千円減額

質疑

コロナ禍により英語指導助手が来日できなかったことによる英語教育への影響は。

答弁

2年間、英語指導助手が来日できなかったが、中学校に英語教員の加配措置があり、中学校での英語教育指導のほか、小学校への乗り入れ授業を実施し、英語教育の充実を図った。また、近隣居住の外国人を学習指導員として雇い、生の英語に触れる機会を設けるなど、影響が最小限になるよう努めた。

地方交付税

2億524万8千円追加

質疑

近年の地方交付税の交付額は、予

算、決算とも17億円程度で推移しているが、今回2億円を超える普通交付税が増額された要因は何か。

算、決算とも17億円程度で推移しているが、今回2億円を超える普通交付税が増額された要因は何か。

答弁

今回の増額の要因は、当初見込んでいた交付税算定の各費目の係数や単位費用が国においては大きく増額されていたこと、令和3年度、4年度だけの措置であるが地域デジタル社会推進費が措置されたこと、また令和3年度の国税収入増加による追加交付があったことによるもの。

令和4年度壮瞥町一般会計補正予算(第1号)について

5,171万円追加

補正後の予算総額

40億5,671万円

プレミアム付商品券事業補助金

1,350万円追加

ビジット昭和和山キャンペーン事業補助金

1,200万円追加

質疑

各事業の具体的内容と実施時期について。

答弁

プレミアム付商品券については、町民向けとして1セット5千円で1万円分利用できるプレミアム付商品券を1,300セット販売する。商品券は町内の飲食、観光、商店用で5千円分と農産物用で5千円分の利用ができる。また、西胆振地域の住民向けに1セット5千円で7千5百円分利用できるプレミアム付商品券を2,000セット販売し、町内の飲食、観光、商店用で4千円分と農産物用で3千5百円分の利用ができるもので、事業の実施時期は、果物のある時期を考慮し、6月から10月までを予定している。

## 意見書・決議

令和4年度の米政策に関する意見書

・「ロシアによるウクライナ侵攻について」の決議

意見書1件、決議1件を採択しました。

## 工事発注状況

令和3年11月から  
令和3年12月まで

( )内は予定価格

- 蟠溪地区バス待合所新設工事  
1,210,000円(1,287,000円)  
道栄建設(株)
- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装その4工事  
10,780,000円(11,286,000円)  
道栄建設(株)
- 駒別橋(車道)補修工事  
28,600,000円(29,546,000円)  
道栄建設(株)
- 蟠溪地区街路灯移設工事  
3,740,000円(3,894,000円)  
(株)堀口電気商会
- 滝之町集落排水処理施設機器修繕工事  
3,740,000円(3,887,400円)  
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 久保内集落排水処理施設機器修繕工事  
4,950,000円(5,159,000円)  
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 仲洞爺集落排水処理施設機器修繕工事  
1,375,000円(1,438,800円)  
kingエンジニアリング(株)北海道支店

# 40億500万円 2億4,000万円の増

防災備蓄品の整備を計画的に進めて行く

## 令和4年度壮瞥町各会計予算状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減
一般会計	4,005,000千円	3,765,000千円	240,000千円
国民健康保険特別会計	469,700千円	462,800千円	6,900千円
後期高齢者医療特別会計	55,200千円	52,100千円	3,100千円
介護保険特別会計	387,800千円	387,300千円	500千円
簡易水道事業特別会計	345,100千円	224,000千円	121,100千円
集落排水事業特別会計	182,700千円	190,400千円	△7,700千円
合計	5,445,500千円	5,081,600千円	363,900千円

財政収支の改善と将来を見据えた社会基盤整備  
令和4年度予算総額54億4550万円を可決!!

第一回定例会で予算審査特別委員会に付託された「令和4年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月16日から18日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、18日の本会議で可決しました。

### 一般会計

### 歳出

### 総務費

### 総務管理費

### 一般管理費

### 役場庁舎清掃委託料

121万円

#### 質疑

役場庁舎清掃委託料が前年度比20%増で計上されているが、その理由は。

#### 答弁

業務内容を変更しているものではなく、複数の清掃業者の参考見積等により計上したものであるが、人件費や諸経費等が上がる以外に

要因がないので、その部分でのアップがあったものと想像している。

以前は厳しく予算査定をしていたため、入札で不落となったケースもあり、若干の余裕幅を見た予算計上となっているが、いずれにしても入札による競争原理により最小限の経費で執行していく。

### 役場庁舎等クラウドPBX導入環境整備委託料

470万円

### クラウドPBX用スマートフォン購入費

70万円

#### 質疑

従前の電話交換機に替えて、クラウドPBX（電話交換機の機能をインターネット上で構築するサービス）を導入することのメリット

#### 答弁

現在の電話交換機は保守期間が過ぎており更新時期にあること、また、国が推進する自治体デジタル化によって、クラウドPBXが交付税の対象となることから導入することとした。

メリットは、町の4つの施設（役場、保健センター、子どもセンター、情報館）を一元化した電話網を構築できること、通常の電話機のほかスマートフォンでも役場の電話番号が利用でき、職員の機動性が向上すること等があげられ、この技術を活用し、住民の利便性や行政事務の効率化によるサービスの向上に役立てていきたい。

初期費用は、スマートフォン25台、電話機35台導入で589万円、年間運用経費は484万円で現在の2倍以上になるが、機器の維持費は端末機器のみとなる。

### 職員研修事業

51万6千円

#### 質疑

職員の資質が問われる事案が近

ト、活用方法及びコストについて。

# 一般会計予算総額は前年比

## 仲洞爺野営場公衆便所の建替工事を実施

隣の自治体で発生しているが、問題解決には職員研修が重要と考えるが、どのようにとらえているか。

【答弁】

近年、コロナ禍で研修の機会が中止になっているが、職員の能力、資質の向上に研修は重要と考えており、今後の状況を見据え、職員の資質向上等に取り組んでいきたい。

### 防災諸費

防災諸費一般経費  
797万4千円

【質疑】

防災備蓄品の購入内容と、災害協定を締結している企業の対応は、どのようになっているか。

【答弁】

令和4年度、防災備蓄品は、スプーン等1,600食、缶詰等1,400食、飲料水400本、マシツクライス100個、その他ミルク類、ダンボールベット30床の購入を予定している。

また、企業とは、食料品や生活雑貨を提供いただく協定を締結し

ており、これらが提供されるまで3日程度と見込んで、備蓄品を整備していく。

### 財産管理費

公共施設管理事業  
(指定管理者施設) 修繕料  
2,280万円

【質疑】

指定管理者が管理する公共施設の修繕の内容について。

【答弁】

ゆーあいの家浴槽タイルが劣化したことによる改修、ゆーあいの家の湯温管理設備(ミキシングバルブ)の改修、消防査察で指摘されたスピーカーや煙感知器、非常灯等の消防設備の修繕等となっている。

仲洞爺野営場公衆便所  
建替工事  
3,700万円

【質疑】

仲洞爺野営場公衆便所の工事は、前年度実施予定であったが、補助金の採択がされなかったため、令

和4年度に実施することのだが、工事費が前年度より大幅増の3,700万円が計上されているが、工事内容に変更があったのか。

【答弁】

また、関連で、洞爺湖園地船揚施設の公衆便所の整備の考えについて伺いたい。

【質疑】

工事費については、単価、資材等の高騰を反映した設計内容の精査と、冬のキャンプを想定した暖房設備の追加や既存の街路灯の更新を追加したことにより大幅増となったが、これらが国の補助対象であることを確認し、予算化した。

船揚施設の公衆便所は、汲み取り式で老朽化している現状にあり、総合的な周辺環境の整備等の観点から、建替等の財源確保を検討し対応していきたい。

【質疑】

仲洞爺キャンプ場の冬期開設ではなく、オロフレスキー場の冬期運営に併せ、スキー場にキャンプ場を併設し、レジャースポットを集中させる方が効率的ではないか。



スキー・スノーボードスクール

【答弁】

冬場に開設すると夏場以上に経費が生じることは承知しているが、戦略はまだ詰めてないが、オロフレスキー場、仲洞爺キャンプ場とも、それぞれ冬の壮瞥町の観光スポットとして育てていきたい。

財産管理事業一般経費  
街路灯具取替工事  
220万円

【質疑】

街路灯具取替工事の内容と、今後の予定は。

【答弁】

総務課所管分として残っている

マイナンバーカードの普及拡大を図っていく

7基を、令和4年度に取り替えて事業終了となる。

徴税費

賦課徴収費

固定資産税標準宅地鑑定  
評価委託料

145万9千円

質疑

委託業務の内容は。

答弁

3年に1度、地域毎に設定した主要な街路に接する標準的な宅地について、不動産鑑定士による評価を行うものである。

評価地は、一般標準宅地として25地点、地価公示地点として1地点、地価調査地点として2地点の評価を予定している。

戸籍住民基本台帳費

戸籍住民基本台帳費

戸籍住民基本台帳

144万7千円

質疑

本町のマイナンバーカードの普及率について。

答弁

本町の普及率は41.54%となっており、西胆振管内では室蘭市の普及率が一番高く42.82%、壮瞥町は2番目となっており、更なる普及拡大に努めたい。

企画費

企画費

洞爺湖有珠山ジオパーク  
推進協議会負担金

301万2千円

質疑

ジオパーク推進協議会の学術専門員の現況は。

答弁

学術専門員は、昨年暮れに採用が決定され、本年4月から勤務する。また、学術専門員に係る人件費は、洞爺湖町が負担する。

質疑

学術専門員の人件費は、構成市町で按分ではなかったか。

答弁

辞めた前任の学術専門員の際には、臨時採用の時点では各市町で人件費を負担したが、正規採用の際に洞爺湖町が全額を負担するルールとなっていた。今回、正規採用ということで、このルールに則り、洞爺湖町が人件費を負担することとなった。

壮瞥町地域公共交通確保  
維持改善協議会負担金

638万1千円

質疑

壮瞥町地域公共交通確保維持改善協議会への負担金の内容は。

答弁

国土交通省の補助金を活用して地域公共交通計画を作成するもので、補助金を受けるには計画書を作成している必要がある。

補助金は国の制度上、市町村ではなく協議会へ支払われるため、町が一旦、計画策定に係る経費分

を負担金として支出し、協議会で計画策定した後、事業実績により精算し、剰余分は町に返戻することとなる。

質疑

この計画書の作成は以前から行われていたのか。また、協議会の構成は。

答弁

これまで計画は策定されておらず、今回からコミュニティタクシ―運行も含め、町全体の交通計画を作成するもの。また、協議会は12名で構成される。

生活バス運行維持費補助金

335万8千円

質疑

令和3年度の生活バスの運行実績は。また、減便の協議はどのようになっているのか。

答弁

令和3年度の赤字額は1,909万円、この約半額の954万8千円程度を道南バスが負担し、壮瞥町が405万8千円、洞爺湖町

## 持ち家住宅取得奨励金を拡充

が447万4千円、伊達市が101万円を負担している。

減便については、本年4月から洞爺湖温泉から水の駅までの2往復を1往復とすることになった。

### 西いぶり広域連合負担金 (電算)

1,834万円

【質疑】

西いぶり広域連合負担金の増額要因は。

【答弁】

8年間程使用していた共同電算システムが本年1月に更新されたが、この経費を令和4年から令和8年までの5年間で償還払いするため予算計上したものの。

### 定住促進・まちづくり推進事業

1,116万9千円

【質疑】

移住体験ハウスの利用状況は。

【答弁】

令和3年度は1月17日から2月16日までの1件の利用があった。今年度は4月、5月、6月に利用の



移住体験住宅ヤルヴィ (Järvi)

予約が入っている。

### 持ち家住宅取得奨励金 (商工会商品券)

200万円

### 持ち家住宅取得奨励交付金

400万円

【質疑】

持ち家住宅取得奨励金、交付金が大幅に増額されているが、他の自治体では、どのような状況か。

【答弁】

他の自治体の奨励金等の額は本町より低かったり、高かったり

様々であるが、本町での定住促進を行うべく増額が必要と判断した。

また、この内容については、子育て支援策と併せて移住体験者にも伝えていますが、奨励金、交付金の詳細は広報誌等で町民にも周知していきたい。

## 民生費

### 社会福祉費

#### 後期高齢者医療費

後期高齢者医療療養給付費負担金

5,201万8千円

【質疑】

後期高齢者医療療養給付費負担金及び特別会計操出金の保険基金安定拠出金が増額となっている経緯は。

【答弁】

療養給付費負担金は高齢者の医療費にかかる町の負担金であり、道の高齢者医療広域連合において令和2年度分の医療費をベースに算定したものであるが、全体にかかる医療費のうち、1割は後期高

齢者の保険料、4割は若い世代の保険料で充当し、残り半分を国と道と町で負担することになっており、国が4、道が1、町が1の割合で負担するもので、町では全体の12分の1を負担。近年は後期高齢者にかかる医療費の増加と高齢者数の増加があり、増額となっている。

特別会計操出金の事務費操出金については、必要な事務費分を町の一般会計から特別会計へ繰り出すもので、保険基金安定拠出金については広域連合で算定し、保険料の軽減分の補填をするものであり、高齢者の人数が増えていることで、軽減金額も増えている。このうち4分の3は北海道から補填され、町負担の4分の1を上乗せして特別会計に繰り出し、最終的に広域連合に納付される。

## 老人福祉費

### 老人福祉総務費

生活支援ハウス運営委託事業

1,670万6千円

### 介護予防通所委託事業

1,282万7千円

結婚新生活支援補助金により結婚新生活を支援する

介護予防家事援助委託事業

742万2千円

質疑

この3事業については対前年度比でマイナス計上されているが、委託事業費の算定要素と、原油価格の高騰による燃料費の高騰が異常に進んだ場合の、委託事業に対する町の対応は。

答弁

生活支援ハウス運営委託事業では人件費64%、燃料費20%、その他16%の割合で算定、介護予防通所委託事業では人件費67%、燃料費15%、その他18%で算定、介護予防家事援助委託事業では人件費92%、車の燃料費は3%程度で算定し、予算化している。いずれも全体の委託料は減少しているが、それぞれの事業費算出にあたっては、燃料費分の割合は、前年より増やしている。しかし、原油価格の高騰が進み、委託事業に影響が出てくるようであれば、対応を検討する。

質疑

町内複数の高齢者から、将来の

生活への不安から、支援ハウスの充実を望む声も聞くが、町としての考えは。

答弁

福祉施策については計画的に進めており、本年度は地域福祉計画を策定しているが、策定委員会の中では支援ハウスの充実という意見はなかった。今後の参考意見としていきたい。

心身障害者福祉費

心身障害者特別対策費

身体障害児支援費事業

22万1千円

質疑

胆振西部児童デイサービスセンター補助金について、説明では事業所の収支改善がなされたということだが、その内容は。

答弁

心身に発達や障害のおそれのある在宅の児童に対し、日常における基本的動作の習得や集団生活への関心等の発達を目的として西胆

振の4市町が伊達市の「胆振西部児童デイサービスセンターあいあいルーム」に事業を委託している。収支改善の内容について、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年度には緊急事態の発出により、デイサービスセンターの利用を控える家庭が多くなり、利用料の収入が下がり、補助金が多くなった。依然として新型コロナウイルスの影響はあるが、令和3年度の実績では利用者が増えたことで収支改善がされる見込みなので、令和4年度は減額した。

地域生活支援事業費

地域生活支援事業

913万7千円

質疑

支援事業のうち、日常生活用具給付費と地域支援各種扶助費の増加の内容は。

答弁

日常生活用具給付費は、紙おむつの給付やストーマの給付を行う事業で、8名が利用している。地域支援扶助費は、日中に一時支援

をおこなうもので、令和4年度から1名の対象者が発生するため予算化したもの。

児童福祉費

児童福祉総務費

結婚新生活支援事業

132万円

質疑

結婚新生活支援補助金について、対象世帯の年齢要件が39歳以下になっているが、どのような経過で定めたか。また、対象となる婚姻期間の考え方は。

答弁

国の補助事業であり、39歳以下の年齢要件は国の要件に準じたものの。対象となる婚姻期間の考え方は、令和4年度事業では令和4年1月1日から令和5年3月31日までが対象となる。

質疑

この事業は、本町では新規に取組む事業だが、2016年からこ



## 各種医療対策や保健事業を継続して推進していく

の事業が展開されており、管内では、既に取り組んでいるところもあるが、このような新規事業に対する、町の取組の考え方について伺いたい。

**【答弁】**

新規事業や国の施策、道の施策については、国の概算要求が8月～9月頃にあるので、その段階で、各課長に事業に関する色々な情報を伝え、政策で使える事業があるかを課長会議に図り、議論するようにしている。その過程と査定の中で、有効な施策を活用し、目指す政策との整合性をとりながら事業を進めている。

### 児童措置費

保育及び子育て環境整備事業

6,286万円

**【質疑】**

保育所運営で、前年度までの保育所管理業務委託に代わり、会計年度任用職員に変更する旨の説明を受けたが、その内容は、

また、これまでは年度当初にお

いて保育士不足も言われていたが、現状での保育所職員の体制と保育サービスの実態は。

**【答弁】**

今まで掃除や消毒、草刈り等の業務は、町内の個人と委託契約を結んで、管理委託料として払っていたが、その方も高齢となり、個人委託者を探せない状態になってしまい、ハローワーク等で募集する場合、個人委託より職員という形の方が採用しやすいとの判断から会計年度任用職員としたもので、業務内容は変わっていない。

保育士の人数は、正職員が9名、会計年度任用職員では保育士、保育補助、調理等で19名、外に児童クラブで5名体制となっている。職員の充足は100%ではないが、現在、募集をかけており、新年度までには、予定人数を確保していきたい。

現在、待機児童はいないが、募集定員いっぱいなので、これ以上増えた場合は、入所できないこともあり得る。

### 衛生費

#### 保健衛生総務費

一次救急医療確保対策事業負担金

206万6千円

**【質疑】**

本負担金は、西胆振4市町の診療実績に応じて負担割合が決まると認識しているが、令和4年度は前年度より41万3千円の減額となっている。令和2年度、3年度の救急医療診療実績は。

**【答弁】**

令和2年度は、全体で2,132件、うち壮瞥町は114件、5.35%、令和3年度は、全体で1,537件、うち壮瞥町は69件、4.49%であり、診療実績は下がっている状況である。

**【質疑】**

周産期医療確保事業負担金

163万2千円

日鋼記念病院に対して6市町が均等割10%、人口割90%で負担し



壮瞥町成人式

ていると説明があつたが、構成市町の負担割合は。

**【答弁】**

全体事業費が5,617万5千円で、子ども用の集中治療室と新生児の回復室の運営経費となっている。

各市町の負担割合は、室蘭市が43.2%、登別市25.3%、伊達市18.8%、洞爺湖町6.0%、豊浦町3.6%、壮瞥町2.9%となっている。

### 予防費

各種がん検診事業経費

350万円

弁景泉源の効率化により二酸化炭素排出量削減を目指す

**質疑**  
各種がん検診の受診状況は。

**答弁**

令和3年度は、結核・肺がん検診では、対象者2,077名中194名、胃がん検診では1,960名中81名、大腸がん検診では1,960名中146名、子宮がん検診では1,107名中41名、乳がん検診では996名中51名、前立腺がん検診では815名中49名となつている。

**乳幼児・母子の保健事業経費**

350万4千円

**質疑**

妊産婦等検診委託料が前年度比33万9千円増、産後ケア事業委託料が前年度比9万円の減、不妊治療費助成金が前年度比40万円減となっているが、それぞれの実績と令和4年度の見込み数は。

**答弁**

妊産婦等検診委託料は、妊婦検診、産後の健康診査、新生児の聴覚検査に係る費用を支援するものである。令和4年度に増額となつた理由は、乳幼児の4か月検診は

通常保健センターで行うものであるが、受診者の都合により病院で検診する場合があるため、令和3年度は2名分を計上していたが、令和4年度では、コロナ禍で集団での検診を避けたいとの希望があつたときに病院で検診できるよう10名分に増やした。

産後ケア事業の令和3年度実績は、ショートステイと訪問サービスの利用実績はなく、通所サービスで1名が数回利用の実績となっている。令和4年度予算では、訪問サービスで3名減の2名分、ショートステイと通所サービスは昨年度と同じ5名分の予算を計上している。

不妊治療費助成金は、令和4年4月から保険適用になり、特定不妊治療で2名分40万円、一般不妊治療で2名分20万円の計60万円を予算計上している。

**環境衛生費**

**火葬場及び墓地管理**

179万9千円

**質疑**

火葬場の使用状況は。

**答弁**

令和2年度は死亡火葬が5件、身体の一部火葬が1件、改葬が4件で計10件。

令和3年度は町内2件、町外2件の計4件の利用があつた。

**害虫駆除委託料**

73万7千円

**質疑**

ほとんどがスズメバチ駆除だと思つたが、昨年度より10万円以上増額となつた理由は。

**答弁**

実績では、令和2年度69件、令和3年度83件と年々増えている状況であり、令和4年度は95件分の予算を計上している。

**温泉管理費**

**弁景泉源資源量調査委託料**

1,100万円

**質疑**

資源量調査の目的について。また、調査によって、どのような効果があり、どのように有効活用されるのか。

**答弁**

令和3年度から実施している高効率化開始計画策定業務の中で二酸化炭素削減に向けて泉源ポンプのインバータ化を目的に54年泉源の揚湯調査を行う。

現在、汲み上げ量は流量計を見てポンプのバルブを開け閉めしているが、インバータ化によってポンプモーターの周波数の制御によって調整が可能になるため、今よりも効率的に行える上に、二酸化炭素削減にもつながると考えている。

**清掃費**

**塵芥処理費**

**塵芥回収委託料**

1,620万円

**資源ごみ回収委託料**

2,200万円

**質疑**

塵芥回収委託料が50万円増、資源ごみ回収委託料が60万円増となっているが、人件費上昇によるものか、それとも回収量が多くなつたことによるものか。

## フォローアップまでを含めた一体的な新規就農支援体制の構築

**【答弁】**

人件費上昇の他に、車両の修繕料やタイヤ購入費を計上していることによるもの。また、資源ごみ回収費では、シエアハウス前にある一時ストック場所前の除雪費分も計上したことによる。

### 農林水産業費

農業費

### 農業振興費

りんごまつり補助金

50万円

**【質疑】**

令和4年度では、りんごまつりの従来通りの開催を望むが、補助金が20万円減額になった理由は。

**【答弁】**

従来開催していた河川敷地が道路工事により使用できない可能性が高く、実行委員会では開催場所や開催の在り方について協議検討中である。

減額はコロナ感染症予防を含め、衛生面から仮設トイレ使用を止めたことによるもの。

持続的農業経営推進事業  
補助金

185万円

**【質疑】**

従来の緑肥作物補助、廃プラ処理補助に、堆肥施用の補助を合わせて一体事業として創設されたが、新年度のそれぞれの利用見込みは。

**【答弁】**

緑肥、廃プラとも今年度並みの24件、70件の利用を見込み、補助額40万円（1/2補助）、45万円（1/3補助）を計上した。堆肥は今年度46件（2月末）の利用がある。



壮瞥高校 卒業式

農業次世代人材投資事業  
補助金

300万円

**【質疑】**

2名分を計上しているが予定している方はいるのか。

**【答弁】**

国費により5年間受給できる経営開始型の補助金で、令和3年度から就農している方と、今年6月に研修を終え、就農予定の方を見込んでいます。

**【質疑】**

本町は他市町村に比べて新規就農者が少ない方が。

**【答弁】**

決して多い方ではないが、それ程少ない方でもない。

本町では研修者の希望を聴いた上で指導農家を含め研修内容を決定しているが、全道的には酪農や施設園芸など、研修内容や研修体制が整っている所に研修希望者が多い。

く集まる傾向にある。

**【質疑】**

今後の新規就農支援の取り組みは。

**【答弁】**

町内農業者や関係団体の協力を頂いて、研修から就農、そして就農後のフォローアップまでを含め、切れ目のない一体的な就農支援体制を作っていくたい。

なお、今年度農業大学のキャリアサポート事業に参加した結果として、4月から1名が町内で雇用就農される予定。

堆肥センター運営事業

2,257万3千円

**【質疑】**

業務に従事する人員数と、人件費が減っている理由は。

**【答弁】**

正規職員1名、臨時職員フルタイム1名、パートタイム1名、短期間アルバイト1名。人件費総額での減は、パートタイム、アルバイトの支給実績に応じたもの。

有害鳥獣等の駆除に継続して取り組む

**質疑**  
堆肥効果の検証のため、実証圃場を設置することになっているが、その規模や実証のやり方は。

**答弁**

圃場面積は55㎡で、4区画に分け、プロットコリーを40株植え、堆肥を含め化学肥料等の施用内容別に生育状況、収穫量などを調べる。

**質疑**

圃場の管理や生育状況の調査はどが行うのか。また、試験圃場としては規模が小さ過ぎないか。

**答弁**

圃場の設置と管理は農家の方に委託し、生育状況等は普及センターの指導の下で行う。

実証試験初年度なので、圃場の規模は普及センターや依頼先農家と協議の上決めており、必要があれば拡大も検討する。

農業研修シエアハウス  
運営事業

96万円

**質疑**  
令和3年度の利用状況と、利用が少なかった要因は。

**答弁**

4月が2名、5月1名、6月から8月は利用がなく、9月から1名、3月から2名が利用している。雇用就農するが短期間で辞めてしまうケースが数件あった。今後は就農相談や事前説明の際、本人のやる気や自覚をきちんと確認する必要があると考える。

林業費

林業振興費

有害鳥獣駆除協力謝金

180万8千円

**質疑**

前年度より31万円減額になった理由は。

**答弁**

令和3年度はエゾ鹿240頭分を計上していたが、新年度はこの科目で200頭分を計上し、新たに国費補助と合わせて、猟友会に

100頭分の駆除の補助を行うことにした。

害獣駆除委託料

180万4千円

**質疑**

事業の内容は。

**答弁**

アライグマ(外来種)駆除が目的で、町所有の函置を希望農家に貸し出し、捕獲後の処分を業者に委託しているもので、200頭分を計上している。

森林環境保全整備事業

950万4千円

豊かな森づくり推進事業  
補助金

683万6千円

**質疑**

それぞれの事業の具体内容と規模は。

**答弁**

森林保全事業は、町有林の整備事業で、下刈43・34ha、間伐8・8haを予定しており、事業費の内

646万2千円(68%)が国、道からの補助となっている。

豊かな森づくり推進事業は、民有林の造林事業で、公共事業分(68%)の残り32%を、道(16%)、町(10%)、所有者(6%)が負担するもの。

林道維持費

林道維持補修経費

311万5千円

**質疑**

継続的な維持管理が必要と考えるが、昨年度より100万円減額となった理由は。

また、令和4年度の予定箇所は。

**答弁**

令和3年度は東湖畔林道で広範囲にわたる洗掘箇所の補修整備を行っており、付随して支障木処理や枝払いの作業も増加した。

令和4年度は、ほぼ例年並みの予算規模で、駒別林道の上久保内側の補修整備を予定している。

壮警町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく施策の検討・実施

水産業費

水産業振興費

内水面漁業支援事業

134万5千円

質疑

洞爺湖漁業協同組合へワカサギ捕獲網制作の補助を行う内容だが、全体の事業規模と負担額は。

また、組合の中で壮警町と洞爺湖町の組合員は何人か。

答弁

事業全体で539万円、そのうち、道の交付金が240万円、壮警町と洞爺湖町がそれぞれ134万5千円、組合の負担が30万円となっている。

現在、組合員は21人で、壮警町9名、洞爺湖町12名。

商工費

商工業費

商工業振興費

新商品開発調査研究・販路開拓支援補助金

120万円

質疑

商品開発に取り組む姿勢とサポート体制が必要では。

答弁

特産品開発が少ない現状であり、その改善策として、補助の仕方と使いやすい支援や、開発の取っ掛かりでの費用も含める等の仕組みを審議会で検討し、利用しやすい仕組みづくりに取り組んでいきたい。

壮警町商工会補助金

980万8千円

質疑

商工会会員が増えた要因は。

答弁

コロナ対策の助成金や給付金などの経済対策について、商工会の経営指導を受けた上で交付する施策により会員数が増えたことが一つの要因である。また、コロナ禍でオンラインやリモートによる事業に取り組む個人事業主が増えたことから、町の施策や指導、商工会の努力によって、これらの事業主が商工会に加入することで会員

数の増につながった。

壮警町起業化促進補助金

100万円

質疑

起業化の情報共有が必要ではないか。また、ポリュームを増やすだけでなく、手を挙げる人が多くなる方法も考えることが必要では。

答弁

起業化補助の内容の見直しについて商工会と協議して取り進めた。また、起業化について商工観光課に11件の相談があったが、資金、相談の新たな芽吹きを大切にしたい。して審議会とも相談して取り進めていきたい。

住宅等リフォーム支援事業補助金

200万円

質疑

住宅リフォーム支援の現状は。

答弁

活用頻度の高い補助金であり、額に応じて工事費用の2割を商工会商品券で補助するもので、令和

3年度実績は、4万円補助が9件、6万円補助が3件、8万円補助が3件、10万円補助が9件であった。

観光費

壮警公園管理委託料

293万2千円

質疑

委託料は、ここ数年同額であるが、人件費の値上げ等は配慮しているのか。

答弁

毎年委託している事業者と綿密に打ち合わせをしており、施肥や梅の植栽本数の確認と管理方法、公園内の草刈り等の業務内容を基に、本年度の単価を反映して算出した額を予算計上している。

北海道登別洞爺広域観光圏協議会負担金

73万6千円

質疑

協議会の令和3年度の活動実績と、令和4年度の活動計画について。

町道滝之町中島1号線の継続整備と事業完了を目指す

【答弁】

令和3年度は、海外・本州方面の活動がコロナ禍で中止となることが多かったが、1市3町が連携して東北、首都圏、九州で誘客活動に取り組み、待つ姿勢ではなく、仕掛ける姿勢で取り組み、誘客のための動画作成によるPRにも力を入れて取り組んだ。

令和4年度は、情報発信の充実向上、訪日リピーターへの働きかけ、道内外の修学旅行生向けの来訪プロモーションに取り組みことを計画している。

土木費

土木管理費

土木総務費

町道測量等委託料

945万円

【質疑】

町道上立香第2線の道道昇格は予定通り進んでいるのか。また、道路や橋は、規格に合った補強等の作業が進められているのか。

【答弁】

令和2年3月6日付けで道道昇

格決定の通知があり、それに伴う事務手続等について協議を進めている現状にあるが、供用開始時期等は未定である。

道路の規格等は、北海道において検討中で、令和4年度には、道路や橋の概略的な設計を行う予定となっている。

道路橋梁費

道路橋梁維持費

町道改修等工事

750万1千円

【質疑】

総合グラウンド周辺の排水に係る大規模改修とのことだが、人通りの多い場所でもあり、もう少し軽微な改修ですむ時期に改修できなかったのか。

【答弁】

町道高等学校第2線の体育館側の側溝の蓋と道路との段差が大きくなってきていることから、既存ト Raff の断面の中に、排水管路を入れ、排水機能を維持しながら、道路としても安全な形状を維持するもの。

また、町道高等学校線の排水補

修工事は、総合グラウンド沿いの道路排水構の詰まりや破損・ずれがあるため、雨水等を適切に受けることができないので、幅30cmのト Raff を布設替えするもの。

維持管理においては、道路等の現状把握に努め、計画的な修繕や予防保全的な修繕を適宜実施していきたいと考えている。

道路新設改良費

町道道路改良舗装工事

1億1,572万円

【質疑】

町道滝之町中島1号線について、令和3年度に完了した町道星野線との交差点から道道滝之町伊達線までの工事をもって事業完了なのか。

【答弁】

令和4年度での事業完了を予定しており、町道星野線と町道滝之町中島1号線の交差点より少し先の工事完了地点から道道滝之町伊達線までの436mを整備するもの。

住宅建設費

蟠溪団地除却工事

1,450万円

【質疑】

工事箇所と内容について。また、除却工事後の跡地活用について。

【答弁】

国道453号沿いで、蟠溪橋手前の公営住宅と町有住宅のうち、除却対象は2階建て公営住宅1棟4戸。

跡地活用については、敷地が借地なので、解体後に整地して返却する。

また、残る1棟3戸の町有住宅の除却時期は未定だが、将来的に解体し、同じく借地であることから、整地し返却したい。

教育費

教育総務費

教育委員会費

校務支援システム使用料

42万3千円

【質疑】

壮瞥高校の校務支援システムの内容は。

## GIGAスクールの推進とタブレット端末の更なる活用

**【答弁】**

道教委が構築したシステムで、壮瞥高校で生徒の成績や出欠、健康記録等といった情報を管理している。

システムでは、成績管理はテスト結果を入力すると成績表や指導要録に引き継がれ、また、進路調査票にも自動入力されるなど、生徒一人ひとりの情報を取りまとめることができるようになってきている。

### GIGAスクール推進事業

261万円

**【質疑】**

教育現場は、どのように変わっていくのか。また通信運搬費・手数料の内容は。

**【答弁】**

小中高の各学校で、高速大容量回線ネットワークによるGIGAスクールを構築し、令和2年度に児童生徒に一人一台のタブレット端末を整備して授業に活用している。

特色ある取組として、小学校では他校とのオンライン授業の実施また、壮瞥高校では栽培管理・生育調査・記録写真等をタブレットを活用して農業実習を行っている。



壮瞥小学校 卒業式

将来的には、文科省が推進しているタブレット端末をデジタル教科書として活用した授業になっていくと考えている。

また、通信運搬費・手数料は、GIGAスクールを運営していくために必要なランニングコストとなっている。

### 学校給食運営事業

1,536万9千円

**【質疑】**

給食のメニューの中で、壮瞥産の食材は活用されているのか。

**【答弁】**

食育センターでは、特色ある給食づくりに取り組んでおり、月1回、地産地消の日が設けられ、壮瞥産のリンゴや卵を使った給食が提供されている。

今後とも給食では、地場産品を使った取組、地産地消を通じた食育に継続して取り組んでいく。

### 高等学 校費

#### 高等学校総務費

資格取得助成補助金

61万8千円

**【質疑】**

食品衛生責任者の資格は、生徒にとつて、どのように生かされるのか。

また学校が推奨している意味は。

**【答弁】**

食品衛生責任者は、食料を取り扱つたための資格で、食品衛生管理者とは異なるが、食品を取り扱つ上で必要な知識を習得するための資格である。

高校としても生徒の励みと、将来の就職活動等に生かしてもらいたい資格である。

たい資格として取得を推奨している。

### 地域農業科実習費

907万6千円

**【質疑】**

アンテナショップ「めぐみ」の運営について。

**【答弁】**

「めぐみ」のオープン時期は、例年6月の中旬から下旬で、今年もオープンに向けて準備を進めており、感染症対策を行いながら運営していきたいと考えている。令和3年度の実績は、9回オープンし84名の来客があった。

### 保健体育費

#### 保健体育総務費

スポーツによる地域活性化推進事業

686万2千円

**【質疑】**

そらべつアウトドアネットワークが主催する事業の参加対象者は。

コロナ禍を乗り越え、りんごまつり、昭和新山国際雪合戦の開催を支援

【答弁】

主催事業では、コロナ禍で開催できなかったものもあるが、町民限定のアウトドア体験会や、町外向けに雪合戦のモニターツアーを実施している。

モニターツアーを通じて関係機関などと連携を図り、雪合戦体験の商品化等、そうべつアウトドアネットワークの今後の展開に繋がっていきたく考えている。

【質疑】

アウトドア推進支援事業は継続して行われるのか。それとも何年かすると終了してしまうのか。

【答弁】

そうべつアウトドアネットワークに係るアウトドア推進支援事業は、毎年度スポーツ庁へ事業申請し、採択決定を受けて事業を実施しており、令和5年度に法人化を目標として取り組んでいる。

歳入

交通安全対策特別交付金

1千円

【質疑】

近年、鹿が道路に飛び出してくる事例が頻繁にあるが、国道に立っている鹿注意喚起の看板を増設する考えはあるか。

【答弁】

看板は、町で予算化して地域安全協会が設置しているが、危険な状況にあるものと認識しており、今後の増設について、地域安全協会と検討していきたい。

使用料及び手数料

農林水産使用料

温泉水使用料等

340万円

【質疑】

弁景温泉の温泉水を使用して野菜等を生産している組合の件数と生産作物を伺いたい。

【答弁】

3つの組合が温泉水を利用しており、1つがオロフレ地熱利用野菜組合で、トマトを栽培している。もう1つが地熱水2次利用野菜組合で、葉物野菜を栽培している。最後に、壮瞥町地熱利用試験セン



オロフレ地熱利用野菜組合 ハウス内の様子

ター利用組合で、試験的に様々な作物を栽培している。

商工使用料

洞爺湖園地船揚施設管理使用料

150万円

【質疑】

洞爺湖園地船揚施設管理使用料の今年度利用見込みは。

【答弁】

令和3年度では、コロナ禍で2か月閉鎖していたにも関わらず、380艇の利用があった実績を踏まえ、375艇利用で150万円の使用料を見込んでいる。

雑入

雑入

保健・介護一体的実施推進事業補助金

650万円

【質疑】

保健・介護一体的実施推進事業補助金の内容について。

【答弁】

低栄養防止、生活習慣病等の重症化予防の取り組みを担当する医療専門職の件費に充当するもので、具体的には、包括支援センター担当の町保健師の給与費に充当される。

町債

農林水産業債

りんごまつり事業

50万円

商工債

昭和新山国際雪合戦事業

720万円

【質疑】

コロナ禍で従来のように開催できなかった、りんごまつり、昭和新山国際雪合戦の今後の開催についての考えを伺いたい。



## 国保ヘルスアップ事業に取り組み、健康増進と医療費抑制を目指す

【答弁】

壮瞥町を代表し歴史ある、りんごまつり、昭和新山国際雪合戦については、壮瞥町を国内外にPRし、情報発信しているイベントであることから、今年度こそはコロナを乗り越えて、町民の皆様の熱い思いを受け止めて開催を支援していきたい。

**国民健康保険**

**特別会計**

**歳出**

**保健事業費**

● **特定健康診査等事業費**

国保事務共同電算処理委託料

670万3千円

【質疑】

新規事業の国保ヘルスアップ事業の内容について。

【答弁】

被保険者の診療レセプトや健診結果などの膨大なデータの分析を専門業者に委託して、健診未受診者への効果的なアプローチや多重服薬等を把握することにより、被保険者の健康増進と医療費抑制を目的とするものである。

**介護保険**

**特別会計**

**歳入**

**国庫補助金**

保険者機能強化推進交付金

60万円

介護保険保険者努力支援交付金

60万円

【質疑】

介護予防、重度化防止等のサービスや支援についての町の施策の考えについて。

【答弁】

介護予防、重度化防止のため、転はん塾や運動教室など様々な取組を実施しており、今後も要介護にならないような事業を展開して行きたいと考えている。

**簡易水道事業**

**特別会計**

**歳出**

**総務費**

● **総務管理費**

**一般管理費**

地方公営企業会計法適用化委託料

354万2千円

地方公営企業法適用化負担金

272万円

【質疑】

簡易水道事業及び集落排水事業について、令和6年度に特別会計から地方公営企業会計への移行するため、これに係る委託料や負担金が簡易水道事業特別会計及び集落排水事業特別会計で予算計上されているが、その内容は。

【答弁】

委託料では、簡易水道、集落排水に係る固定資産台帳の作成や施設台帳図のデジタル化、水道本管から各家庭への水道管を記載した給水台帳図のデジタル化を図る業務内容となっている。

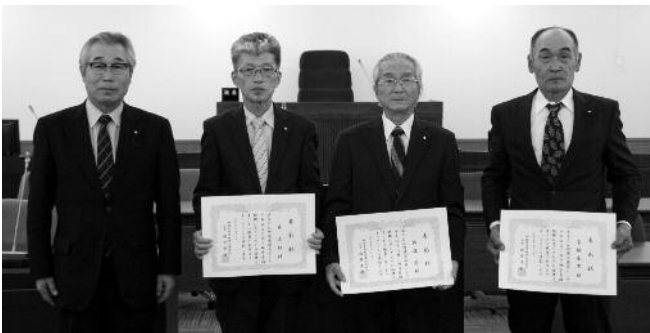
負担金では、地方公営企業会計システム導入に係る支援として、条例や規則の制定等の作業支援、起債等の繰越金や固定資産台帳の整備等を行う内容となっている。

### 自治功労者表彰の受賞

森議員、佐藤議員、真鍋議員の3議員が、町村議会議員として満10年以上在職し地方自治の発展に功労があったと認められ、令和3年9月14日に胆振管内町村議会議長会会長から表彰されました。

3月10日の第1回定例会前に長内議長から各議員へ表彰状が伝達されました。

誠にありがとうございます。



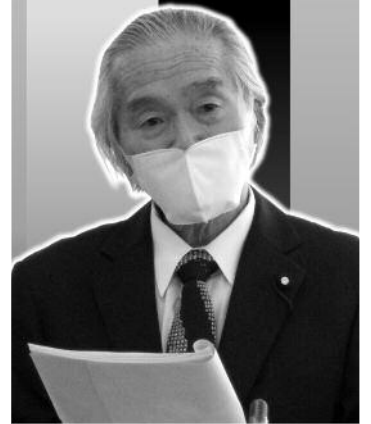
自治功労者（議員10年以上）表彰

# Q & A

【事業計画の取り組み状況の確認】

## Q 牧場の統合と 昭和新山地区の活性化

### A 関係者の理解を得て推進



佐藤 恣

#### 昭和新山地区の 活性化

議員

平成28年度策定の「昭和新山地区観光活性化基礎調査」の内容は。

取り組みの経緯、活用できる施策の検討、環境省・北海道を中心に協議、調整を進めてきた。

議員

令和4年度の推進にあたり関係機関との話し合い、解決しなければならぬ課題は何か。

議員

町営牧場の統合について（令和元年第3回定例会での質問）、その後どのように進んでいるか。

町長

土地・建物の権利関係

調査の内容は地区の観光地としての魅力化、商店街の街並み再編成を見据え、これまでの経緯の整理や「土地・建物の権利関係」を中心に調査していると認識している。

町長

環境づくりと理解を得て

これまでの調査や関係機関等との調整を踏まえ、関係機関との協議・支援制度について調査検討の継続、地域の事業者等の調整を図り、ビジョンの策定に向けた環境づくりを進める。

町長

上久保内町営牧場望ましい

畜産業の持続的発展のために飼料の確保や労働の軽減を図るため、町営牧場がその機能と役割を十分に発揮されるよう検討を進め、立地条件（傾斜地が多い）、家畜管理の容易さなどから、町営牧場としては上久保内牧場が望ましいとの意見をいただいている。

議員

令和元年の利用状況は立香牧場は、町外から馬7頭、上久保内牧場は、町内33頭、町外13頭であったが、その後の入牧数は。

議員

令和2年度、3年度の推進にあたり、どのような取り組みと解決しなければならぬ課題は何か。

町長

施策立案に道から職員派遣

関係機関と協議を継続、ビジョンの策定には専門性の高い施策の展開が必要のため、北海道に施策の立案や財源確保等、広範な調整力のある職員の派遣を要請、3年度から職員の派遣をいたしたき、当該地域の観光地形成の歴史、現状と課題を改めて調査。これまでの

議員

統合後の活用はどのように考えているか。

町長

利用方法幅広く検討

立香牧場は飼料基盤を確保と、草

産業振興課長

3年度 馬9頭 牛48頭

令和2年度は、立香牧場では、町外から馬9頭、上久保内牧場では、町内から牛30頭、町外から牛22頭。令和3年度は、立香牧場では、町外から馬9頭、上久保内牧場では、町内から牛27頭、町外から牛21頭の利用状況です。



壮瞥中学校 卒業式

〔主要施策の取り組みについて〕

Q 一貫した

農業担い手支援策が必要

A 就農後のフォローアップ等

切れ目なく支援



松本 勉

小規模企業振興基本条例が制定されることとなったが、施策展開等、今後の具体的な取り組みは。

町長

同条例は、本町商工業が抱える課題を解決し、中小企業の振興を図るた

農業振興施策

議員

①「情報通信環境整備計画」の策定に着手しているが、その進捗状況と今後の進め方は。

また、この中で本町農業の将来像や必要施策を示したいとしているがその具体的内容は。

②就農相談、研修・実習の受け入れ、就農後の技術習得や経営管理研修等、体系的で一貫した担い手支援体制の強化を図るとしているが、その具体的な取り組みは。

町長

①情報通信技術やスマート農業に関し専門性を有する企業と通信技術の活用や調査方法等の協議を行い、気象観測データの活用を図るなどの通信設備に関する現地調査等も行った。新年度は、多くの農業者とワークショップを通じて地

域農業が抱える課題の解決方法や経営発展に必要な施策等について議論を深め、地域の身の丈に合ったスマート農業や、技術を活用した「農業の見える化」に必要なインフラ整備について方向性をまとめた。

②就農相談から就農計画策定、就農研修受け入れ等、研修の各段階で「担い手センサー」構成機関の役割と機能を十分発揮させ、円滑な就農に結び付け、さらに、栽培技術や経営管理能力の向上など就農後のフォローアップを強化し、生産者や関係機関・団体とこれまで以上に連携して、本町農業を担う多様な人材の育成・確保を図って行きたい。

商工業振興施策

議員

令和3年度から商工会と協議検討を進めてきた「壮瞥町中小企業・

め、基本理念や町の責務、事業者の役割、町民の理解等を定めたもので、商工会や金融機関と協議を進め、今般制定の運びとなった。

今般は条例に基づき「壮瞥町中小企業等振興審議会」を設置し、町が独自で実施してきた起業家支援や住宅リフォーム助成等に加え、体系的で効果的な施策を検討し、事業展開に結び付けたい。

防災対策・通信環境整備施策

議員

①危機管理体制の強化のため、北大の退職者を防災アドバイザーに委嘱し、退職自衛官を地域防災マネージャーとして採用するとしているが、夫々の業務と期待する役割は。

②クラウドPBX導入の内容と期待効果は。

町長

①防災学識アドバイザーには、地域の情勢を把握の上、科学的見識に基づき的確に助言を頂くよう委嘱し、2名体制とする。地域防災マネージャーは、平常時には防災計画等の管理や普及啓発を、災害時には対策本部の運営や関係機関との連携調整を担って頂く。

②役場庁舎の電話交換機更新にあたり、町内4行政施設の電話網をインターネットを活用し一本化するもので、災害時に役場機能が移転しても情報通信環境を保持でき、平常時には施設間での内線電話転送や、スマートフォンを使った庁外での受発信が可能となり、住民サービス向上と業務効率化に繋がる。



壮瞥高校 入学式

# 薫風

## 『アロマでできることを知っていただく活動を 通じて植物のパワーを共有していきたい』

松浦 雅子



みなさん、【アロマセラピー】と聞いてどんなイメージが湧いてくるでしょうか？

「『』でいうと『植物の香りを使った療法』です。

町内を中心に、出張講座などで『かおりの教室』として夏は暑さや日焼け対策、冬は風邪予防のアロマなど季節に合わせたホームケアをお伝えしています。

薬に頼る前の予防医学・おうちの救

急箱に一本のアロマを、と活動しております。

人間の五感（聴覚、触覚、味覚、視覚、嗅覚）の中で人間の原始的な部分である大脳の『本能』に直接働きかける器官が【嗅覚】です。

嗅覚は脳にダイレクトに刺激を与える、唯一意識しないで快・不快を判断する器官となります。

ですから、香りの好みで「本能」が求めていることがわかり、今の自分にとって必要なこと、必要ではないものを知ることができるのです。

リラックスする作用のある香りが好きな場合は本能が『あなたにはリラックスが必要』と伝えてくれていて、もし嫌いな場合はその作用が必要はないと判断します。

それがアロマセラピーの基本となります。

ます。

また、自分の肌と向き合うことで肌荒れの原因を見つけてあげることができる場合もあります。

『肌をきれいにするものが環境を汚してしまうのは残念なこと』という想いから、自然由来成分で作る手作りコスメの教室も開催して、『コスメは作る選択もできる』ということで作る楽しみ、使う楽しみを知っていただきたく、アロマ活動と並行して動いております。

どちらも植物の力を使わせていただいております。

現在は洞爺湖周辺の植物を使つての講座も増えてきて、将来的には壮瞥町の果物や植物などを活用してのクラフト体験もしていきたいです。(特にリンゴの化粧水は保湿や抗菌効果が抜群なのです。)

アロマもコスメも生活にハリを与えてくれるもの。

老若男女問わず楽しみの一つにしていただければと思います、活動を広め一緒に活動できる仲間ができるよう、一歩ずつ進んでいきたいです。

毎月『アロマを楽しむ会』を開催しております。

一度遊びに来てみてくださいね。

## 編集後記

桜が見ごろとなる季節、世界では戦争や新型コロナウイルス感染症、大規模自然災害が起こり、経済の低迷等、各方面に甚大な影響を及ぼしています。

世界の平和と、国民の生命・財産を守るため、大規模災害対策推進や被災地に寄り添った支援対策の強化・充実を進めて頂き、皆様方と連携・協調を図り、明るい展望を切り開いていくことができそうです。願う次第です。

一方で、昨年ほとんどのイベント開催の中止や、人との触れあう場がなかった我が町。イベントを通じた楽しみ方、若者の笑顔や子育てしやすい地域づくり、安心して生活ができる環境、今年はずいぶん実現・開催されるような年であります様に。

(M.K)